

平成29年度
香川県防災士会総会
議案書



日 時 平成29年4月30日（日）
会 場 香川県高松市番町1丁目10-35
香川県社会福祉総合センター7階大会議室

総 会 次 第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 来賓祝辞
4. 出席人員の報告
5. 議長選出
6. 議事録署名人の選出及び書記指名
7. 議事
 - 第1号議案 平成28年度事業報告および収支決算について
 - 第2号議案 平成29年度事業計画および収支予算について
 - 第3号議案 規約の改正について
 - 第4号議案 役員の改選について
8. 報告事項
 - 本部・各支部及び各部会活動報告
9. その他
10. 閉会

第 1 号議案 平成 28 年度事業報告および収支決算について

平成 28 年度事業報告

平成 28 年度は【1. 防災士としての知識、技術、技能の研鑽】 【2. 組織の強化および広報の充実強化】 【3. 防災減災活動の支援、連携】 【4. 防災減災啓発活動の推進】を重点項目に掲げ、活動した。またさらなる発展のため組織の強化と今年度設立 10 周年を迎えることから各プロジェクトチーム（以下 PT とする）を立ち上げた。

【1. 防災士としての知識、技術、技能の研鑽】

地区防災計画アドバイザーとしての知識・技能研鑽のため研修会 4 回実施した。また各種ザードマップ作成等アドバイス、各種講習会、講演会の開催によって地震、津波、ため池決壊、土砂災害などの新しい知識、技術を発信するとともにスキルアップに資する活動を行った。恒例の高松地方気象台との合同研修会を実施するとともに香川地域継続検討協議会の勉強会へ積極的に参加した。

【2. 組織の強化および広報の充実強化】

本会の中に以下の部会及び PT を設置した。

< 広報、企画、渉外担当部会 >

本会の目指すべき方向について意見交換をするとともにパンフレットを作製。各支部に配布、活用をお願いした。

< 防災訓練等担当部会 >

平成 28 年度土器川総合水防演習参加（平成 28 年 5 月 22 日）

避難誘導、市民トリアージ、搬送の各訓練を担当

研修会実施

「身近な防災資機材の理解と操作」（平成 29 年 3 月 26 日）

< 防災士講師育成担当部会 >

講師育成要領を作成し、初級認定の申請を受け付け各支部で承認した。

初級全コース認定者が 23 名になり各支部での活動が期待される。

< 組織強靱化検討 PT >

答申を受け、平成 29 年度事業計画を策定（平成 29 年度事業計画案で説明）

< 10 周年記念式典実行委員会 >

10 周年記念式典及び祝賀会を計画

平成 29 年 11 月 3 日（金・祝日）午後

式典：香川県社会福祉総合センター1 階コミュニティホール

祝賀会：リーガホテルゼスト高松

【3. 防災減災活動の支援、連携】

国・県・市町との連携も進み、平成 28 年度より香川県知事から「香川県自主防災活動アドバイザー」の委嘱を受け活動している。また、香川で 4 年に一度開催される四国地方整備局による「土器川総合水防演習」に初参加した。「丸亀市自主防災活動等連絡協議会」の結成、副会長に就任。これまで継続実施の香川県教育委員会の「学校防災アドバイザー派遣事業」に香川大学（日本技術士会四国支部）、高松地方気象台と合同で実施。香川国道河川工事事務所の「土器川大規模水害検討会・WS」、四国行政評価支局の「一日行政相談」等。地区防災計画推進支援については、県内各地で防災士が策定支援を行っている。太田南コミュニティ協議会では、地域継続計画書が作成された。国分寺北コミュニティ協議会との地区防災計画策定に関する協定書に基づき地区防災計画策定が進行中である。また、東かがわ市では市が養成した防災士について東かがわ市と協定を締結し、東讃支部が継続して教育支援を実施している。

地域や自主防災組織などから、DIG、HUG、防災まち歩き、防災講演等の講師派遣要請や、校区を中心とした防災訓練等の要望に応じた活動を実施した。

【4. 防災減災啓発活動の推進】

各種団体、日本赤十字社香川県支部、香川県社会福祉協議会、各市町との社会福祉協議会など関係組織との連携が進んでいる。

平成28年度 収支決算報告

1. 収入の部

項目	28年度予算額	28年度決算額	増減	備考
会費	750,000	797,000	47,000	H28年度251名(うち学生1名) 1団体(10,000円) H26年度分3名・H27年度分9名
入会費	200,000	230,000	30,000	H28年度45名、H27年度1名
事業収入	50,000	111,340	61,340	防災活動謝礼
協力費	60,000	54,000	△ 6,000	日本防災士会より
雑収入	735	38,444	37,709	預金利息、頒布品販売益
繰入金	0	0	0	
繰越金	566,265	566,265	0	前年度の繰越金
合計	1,627,000	1,797,049	170,049	

2. 支出の部

項目	28年度予算額	28年度決算額	増減	備考
1. 事業費	600,000	359,437		
(1) 活動費	400,000	199,437	△ 200,563	広報・研修会、HP管理委託料等 40000円×2支部
(2) 支部活動助成金	200,000	160,000	△ 40,000	20000円×3支部 10000円×2支部
2. 会議費	80,000	82,218	2,218	役員会・総会・湯茶等
3. 事務運営費	600,000	312,437		
(1) 事務費	120,000	120,000	0	事務長、会計経費5000円×12カ月
(2) 消耗品費	100,000	58,908	△ 41,092	事務消耗品
(3) 印刷製本費	50,000	31,630	△ 18,370	総会・研修会資料印刷
(4) 通信費	100,000	101,899	1,899	総会資料・会報発送等
(5) 旅費	30,000	0	△ 30,000	支部長会議参加交通費補助
(6) 需品購入費	200,000	0	△ 200,000	防災士帽子等購入
(7) 団体負担金	0	0	0	他団体加入金・会費
4. 役務費	137,500	125,754		
(1) 傷害保険	107,500	98,900	△ 8,600	ボランティア保険 430×230名
(2) 振込手数料	30,000	26,854	△ 3,146	年会費振込手数料
5. 予備費	209,500	33,400	△ 176,100	慶弔費、謝礼、会費等返金
合計	1,627,000	913,246	△ 713,754	

差引

883,803

次年度 繰り越し金

香川県防災士会ポロシャツ会計明細書

平成29年3月31日

年	月	日	摘 要	仮払い	収入	支払い	残 高	備 考
H28	6	27	本会計より立替払い	62,564			62,564	
			フラスワンインターナショナル支払い			62,240	324	
			振込手数料			324	0	
		30	H28年度売上30枚 (4/21~6/30)		69,260		69,260	
H29	3	21	差額返金			300	68,960	
		31	本会計に戻入			62,564	6,396	
			雑収入 (本会計雑収入に計上)			6,396	0	
					69,260		0	

香川県防災士会ヘルメット会計明細書

平成29年3月31日

年	月	日	摘 要	仮払い	収入	支払い	残 高	備 考
H29	6	30	H28年度売上16個		32,000		32,000	
			雑収入 (本会計雑収入に計上)			32,000	0	
							0	
					32,000		0	

会計監査報告書

平成29年4月 日、平成28年度香川県防災士会の収支決算書について、預金通帳、関係諸帳簿を監査した結果、いずれも正確適正であることを認めます。

平成29年 4月30 日

監 事

氏 名

友 國 和 俊



中 村 啓 二



第2号議案 平成29年度事業計画および収支予算について

平成29年度事業計画(案)

今年度の大きな目標として日本防災士会の活動理念に基づき「地域に根差した動く防災士」をめざし、昨年度と同様に【1. 防災士として知識、技術、技能の研鑽】 【2. 組織の強化および広報の充実強化】 【3. 防災減災活動の支援】 【4. 防災減災啓発活動の推進】を継続、今年度は組織強靱化PTの答申を受け組織・体制の強化を図る(別紙1)。具体的には支部における活動体制を充実させ、本部役員構成の改革、事務局作業の軽減、会員の活動支援と地域に根差した活動を明確にし、地区防災計画等地域の減災を目指す活動に取り組むとともに香川県防災士会設立10周年記念行事に向けて取り組む。

また、香川大学、行政機関(国・県・市町)、香川県社会福祉協議会、日本赤十字社香川県支部等、関係機関との連携の一層の推進を図る。

- ・地区防災計画策定に向けた支援の推進
- ・香川県自主防災アドバイザーへの継続参画
- ・香川県教育委員会の学校アドバイザー派遣事業への継続参画
- ・市町育成の防災士のスキルアップを目指した支援の継続推進
- ・地域が必要とする防災減災スキルを持って支援する
- ・地域自主防災組織等と連携強化を図る
- ・自主防災組織等からの要請に対応したスキルなどの支援および連携の強化
- ・専門部会活動の活性化および具体提案の推進
- ・スキルアップ研修の内容充実と認定申請の促進
- ・四国支部連絡協議会の設立準備に取り組む
- ・関係機関との連携を図る

香川大学、行政機関(国・県・市町)、香川県社会福祉協議会、日本赤十字社香川県支部等

スケジュール(予定) (注)スキルアップ研修については開催日時、場所等は後日連絡。

時 期	場 所	対 象 者	内 容
月1回		三 役	
年4回 第2金曜日	随時検討	役 員 支部長	支部活動報告 役員会
6/7	香川大学	事業登録 希望者	平成29年度学校防災アドバイザー事業事前説明会
6/11	未 定	会 員	第5回地区防災計画勉強会「事例研究1とモデル地区選定」(太田南コミュニティ協議会の取組報告)
7/1	社福センター	会 員	勉強会「新しいステージに対応した気象情報」
夏頃	県内数箇所	会 員	担架搬送・応急手当
8/27 予定	未 定	会 員	第6回地区防災計画勉強会「事例研究2・進捗報告」
10/1 予定	未 定	会 員	第7回地区防災計画勉強会「事例研究3・進捗報告」
11/3	社会福祉総合 センター	会 員	香川県防災士会設立10周年記念式典 祝賀会(リーガホテルゼスト高松)
2/10 予定	未 定	会 員	第8回地区防災計画勉強会 「まとめと次年度以降の計画づくり」

※予定の開催日については、変更になる可能性有

平成29年度 収支予算書 (案)

1. 収入の部

項目	29年度予算額	28年度予算額	増減	備考
会費	911,000	750,000	161,000	3000円×300名、1団体、学生1名
入会費	200,000	200,000	0	5000円×40名 (新規会員)
事業収入	50,000	50,000	0	防災活動謝礼
協力費	60,000	60,000	0	日本防災士会より
雑収入	197	735	△ 538	預金利息
繰入金	0	0	0	
繰越金	883,803	566,265	317,538	前年度の繰越金
合計	2,105,000	1,627,000	478,000	

2. 支出の部

項目	29年度予算額	28年度予算額	増減	備考
1. 事業費	921,000	600,000		
(1)活動費	700,000	400,000	300,000	記念式典400000円、HP管理委託料 60,000円・SSL導入費20,000円 その他謝礼、研修会費等
(2)支部活動助成金	221,000	200,000	21,000	1000円×221名 (H29.3末会費納入者数)
2. 会議費	60,000	80,000	△ 20,000	役員会・総会経費
3. 事務運営費	475,000	600,000		
(1)事務費	120,000	120,000	0	事務長会計経費5000円×12カ月
(2)消耗品費	50,000	100,000	△ 50,000	事務消耗品
(3)印刷製本費	40,000	50,000	△ 10,000	総会・研修会資料印刷
(4)通信費	60,000	100,000	△ 40,000	総会資料、研修会案内等
(5)旅費	30,000	30,000	0	支部長会議参加費補助
(6)需品購入費	175,000	200,000	△ 25,000	防災士帽子等購入
(7)団体負担金	0	0	0	他団体加入金・会費
4. 役務費	153,000	137,500		
(1)傷害保険	150,000	107,500	42,500	ボランティア保険 500円×300名
(2)振込手数料	3,000	30,000	△ 27,000	会費等振込手数料
5. 予備費	496,000	209,500	286,500	慶弔費、会費等返金、その他雑費
合計	2,105,000	1,627,000	478,000	

8 報告事項

本部・各支部報告及び各部会報告

- ・東讃支部 ・高松北支部 ・高松西支部 ・高松南支部 ・坂出宇多津支部 ・中讃支部 ・西讃支部
- ・RB部会 ・香川県西部特定郵便局長部会 ・カレッジ部会 ・女性部会
(別紙2)

9 その他

10 閉会